科目ナンバリング	U-LAS51 10036 SB48						
授業科目名<英訳>	アクティブリスニングⅠ（全・英）-E3 Active Listening I(All Faculties, English)-E3			担当者所属職名・氏名	国際高等教育院 教授　　柳瀬　陽介		
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	国際コミュニケーション	使用言語	日本語及び英語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本科目は、英語による講義を履修するために必要となるリスニング能力の育成を目的とする。リスニング能力の育成では、語・文レベルでの聴解力を重視するボトムアップ型と、背景知識や文脈などを活用した意味理解を重視するトップダウン型の両方を組み合わせる。リスニング能力の向上により、主体的に英語での講義に参加できることを目指す。

[到達目標]

本科目は、以下の3つを到達目標として定める。この科目が修了する時点で受講生が以下の能力を身につけることを目標とする。
(1)英語の音声的特徴（母音、子音、リズム、イントネーション、連結、脱落、同化など）を分析的に理解し、その知識をリスニングの際に利用することができる。
(2)文脈や背景知識、発話の状況を活用して、次にくる情報や内容などを予測したり、自身の理解を修正したりする方法を身につけ、その方法をリスニングの際に利用することができる。
(3) 英語の概論的講義 (10-20 分程度）を聞いて、その概要や要点を的確に把握することができる。

[授業計画と内容]

(授業計画と内容)
[授業方針]
「教室は、学習者が安心して間違い、その間違いから学ぶ場所」と心得ています。教室内に心地よい学びの共同体文化を創りましょう。ペアやグループ活動を積極的に行い、お互いに励まし合って英語学習を継続させましょう。

［授業のねらい］
皆さんが、他律的な英語学習者から自律的な英語ユーザーへと成長を遂げることを目指します。そのため、皆さんが授業で学んだリスニングのコツをもとにして、自分の興味ある英語をどんどん聞き・話すことを奨励し、その成果をまとめたレポートを評価します。聞く課題では、授業で紹介された動画や自分で見つけた動画の中でもっとも自分の興味をひいた動画を聞いてください。話す課題では、授業外ではAIと授業中ではクラスメートと話してください。（AIとの英会話については、下の「関連URL」を参照。）
技能習得には時間がかかりますので、毎週、自分の好きな話題でいいですから英語を聞いて話す課題を授業外に求めます。大変そうに聞こえますが、逆に言いますと、ある程度の努力を重ねないと英語は身につきません。また、皆さんが行った努力の過程は必ず適正に評価します。

[授業計画]
第2週から第12週の授業は、基本的に4つの部分で構成されます。1) 提出されたポートフォリオについてのコメント、2) 前の週の自分の英語学習についてペアで英会話、3) 英語の音声的特徴についての学習（ボトムアップ型学習）、4) 有意義な英語サイトの紹介（トップダウン型学習）。
1) でクラスメートの優れた学びから刺激を得ます。 2) ではスピーキング経験を重ねて苦手意識を取り除き自信をつけてゆきます。3) は授業の主眼で、解説・ディクテーション・発音練習などで、

アクティブリスニングⅠ（全・英）-E3(2)へ続く↓↓↓

日本語にはない英語の音声的特徴を学びます。4) では入門的なサイトから、学術的あるいは発展的なサイトを紹介して皆さんの視野を広げます。教科書ではアメリカ英語のリスニング・発音を学びますが、世界のさまざまな種類の英語のサイトも紹介します。
第13-14週では、英語講義でのノートの取り方を学びます。
第15週は、Active Listening科目のどのクラスでも要求されている期末テストを行います。

以下のリストは、それぞれの週での主な学習の内容です。これより詳しい計画表は授業第1週に配布します。

1: 導入：授業とデジタル学習環境についての説明
2: 子音：破裂音・美音・摩擦音
3: 子音：破擦音・接近音・側面接近音
4: 母音：日本語よりもはるかに多い英語の母音
5: 同化：音と音が結合して別の音になる
6: 脱落：特定の音は頻繁に省略される
7: 弱形：機能語は通常は弱く発音される
8: 短縮形：短縮形の聞き取りは案外難しい
9: 破裂音：時に破裂音の破裂は生じない
10: 連結：単語の境界が音ではわかりにくい
11: リズム：上の現象の根源は英語のリズムにあった
12: イントネーション：音程変化は意味やニュアンスにかかわる
13: ノートテイキング： 構造的なノートの取り方
14: ノートテイキング実践：要点だけを構造的に書き残す
15: 期末試験：英語動画を視聴し、その要点を英語でまとめる
16: フィードバック：LMS上でフィードバックを示す。授業時間には希望者の研究室訪問を歓迎する

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

以下の (a)-(d) の4項目を評価し、それぞれの比率にしたがって評価得点とする。
(a) 毎週提出するポートフォリオ (30%)
(b) 毎週提出するAIとの英会話レポート (20%)
(c) 積極的な授業参加 (20%)
(d) 期末試験 (30%)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

（関連ＵＲＬ）

https://kubar.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp/elme/(英語リスニング力を上げるための10の解説動画（京大メールでの認証が必要）)
https://yanase-yosuke.blogspot.com/2025/02/ai7chatgptgpts.html(【まとめ】AIを活用した英会話練習の

アクティブリスニングⅠ（全・英）-E3(3)へ続く↓↓↓

アクティブリスニングⅠ（全・英）-E3(3)

すすめ―11個のChatGPT/Geminiプロンプト（カスタムGPTs）)
https://yanase-yosuke.blogspot.com/2023/10/youtube.html(**【まとめ記事】英語の発音を自学自習できるYouTube動画のリスト**)
https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/interviews_jp(**京都大学自律的英語ユーザーへのインタビュー**)
https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/consultation_jp_FAQ(**英語学習相談：よくある質問**)
https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/tips/contents_jp#frame-322(**英語リスニング力を向上させるために**)
https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/soundfeatures(**英語音声の特徴：口語英語の音声変化**)
https://doi.org/10.14989/ILAS_7_23(**<実践報告>E3新科目「アクティブリスニング」始動期実践からの省察 --自由な学び合いと多様な競い合いを活かした実践にむけて--**)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業の予習は不要ですが、復習としては第1～14週まで「成績評価の方法・観点」の (a) のポートフォリオを提出してください。また英語で話すことを習慣化するため (b) のAIとの英会話のレポートの提出もお願いします。どの課題も、皆さん自身が書いてよかったと思える形でまとめてください。この授業の究極の目的は皆さんに自律的英語ユーザーになってもらうことですので、皆さんの個性的なレポートをお待ちしています。

[その他（オフィスアワー等）]

授業にはインターネットが使えるデバイス（ラップトップ推奨）とイアフォンをもってきてください。
個人相談は随時受け付けますから、授業の前後か、メール（yanase.yosuke.3n@kyoto-u.ac.jp**）でお互いに都合のよい時間を決めましょう。**

[主要授業科目（学部・学科名）]